

# 令和6年度第3回安城市地域ケア推進会議及び安城市認知症初期集中支援チーム検討委員会

日時 令和6年7月18日(木)

午後1時30分～午後3時

場所 社会福社会館 3階 会議室

## 1 会長あいさつ

暑い日が続いており、これから夏本番であるがすでに熱中症の方が増えている。コロナの感染も全国的に増えている。感染対策をしながらの熱中症対策は難しいと思うが、健康管理に気を付けていただきたい。

## 2 議題

### (1) 認知症初期集中支援チーム検討委員会(資料1)

・初期集中支援チームとは  
事務局)

(資料1-1)に沿って説明

・初期集中支援チームの活動報告  
認知症初期集中支援チーム)

(資料1-2)に沿って説明

(意見交換・質疑応答)

保健福祉部会)

認知症の方で困ったことがあった場合は初期集中支援チームの方に連絡して対応していただいている。包括として頼りにしているのでこれからも引継ぎお願いしたい。

ケアマネット部会)

関わり開始から終了まで期限はあるのか。

認知症初期集中支援チーム)

基本的にはチームの支援開始から終結まで約半年とされているが、チームとして患者さんが住み慣れた地域で穏やかな生活ができるまで見届けるという方針でやっているなので、特に期限はない。3、4年かかったケースもある。

デイネット部会)

好事例を具体的に発表する場があるとイメージが付きやすく、より活用ができると思うがそのような機会はあるか。

認知症初期集中支援チーム)

1 2月頃に開催される第2回の検討委員会で毎年、事例報告を行っている。

地域支援部会)

認知症疑いの方で本人や家族が認めない場合の認知症と診断がつくまでの流れはどのようか。

認知症初期集中支援チーム)

本人が認知症を認めない場合は多い。受診につなげるのが難しい場合や家族が認めたくない場合もある。本人、家族に話を聞きながら、受診につながるような支援をしている。受診先で医師に認知症または認知症でないと診断がつき、支援を考えていく。

地域支援部会)

認知症疑いの方を何と表現するのがいいのか。

認知症初期集中支援チーム)

外来で認知症の診断が出ている人にも認知症の人という言葉はあまり使わない。医師も物忘れがあるねなどの声かけをする。例えば、地域で迷っている人がいれば迷いやすい人、気にかけているという意味を込めて心配な人などと表現する。

会長)

認知症という病名がつく前は痴呆、いわゆるボケと言われていた。突き詰めると人権問題なども出てくるので、時代に合わせて認知機能障害や物忘れという具体的な症状で表現したりして認知症という病名が広まってきた。

衣浦東部保健所)

病気かどうかということも治療に結びつけるうえで重要だが、その人が何を困っているか、何を支援できるかという視点が大事だと思う。

(2) 情報共有

・初診時選定療養費の変更、整形外科外来診察完全予約制について (資料2)

安城更生病院)

(資料2) に沿って説明

地域支援部会)

年金暮らしのお年寄りも多く経済的困窮のある家庭も多いが、救急車で搬送された場合も初診時選定療養費は必要か。

安城更生病院)

入院が必要になるような救急の場合は必要ない。休日や夜間の救急外来は国が決めた770

0円で据え置きとなっている。日中はなるべく近隣のクリニックにかかり、判断を仰いでほしい。

#### 医師会部会)

高齢者の転倒による骨折や誤嚥性肺炎など避けられない問題が日々起こっているが、病院を分担していかないと地域の医療を担保できなくなってくる可能性がある。急性期の病院だけでなく、療養も見据えた病院への搬送もするなど分担を心がけている。

#### 在宅医療サポートセンター)

機能分担の話があったが、安城市在宅医療ガイドブックにもかかりつけ医が在宅医療を実施できない場合などの相談先として在宅医療サポートセンターを掲載している。安城更生病院や八千代病院と情報共有しながら連携していきたい。

#### ・住まいのエンディングノートについて

#### 建築課)

空き家対策を推進している課である。空き家は今後も増えていくことが予想され、今住んでいる家を空き家にしないことが重要だと考えている。6月に国土交通省から住まいのエンディングノートが公開された。わたしノートとあわせて活用していただき、住まいの将来を考えるきっかけになればいいと考えている。

相続した方が空き家をどのように扱っていけばいいか困らないように、所有者が元気なうちに家族で話し合うきっかけになることを狙いとしている。

#### 訪問看護ネットワーク部会)

住まいのエンディングノートはどこで手に入れることができるか。

#### 建築課)

市役所の建築課または高齢福祉課で配布している。ホームページでも公開しており、ダウンロードすることができる。

#### 連絡事項

#### ・地域包括ケアフォーラム

日 時 令和6年8月17日(土) 午後1時30分～午後4時

場 所 へきしんギャラクシープラザ マツバホール

内 容 映画上映「オレンジ・ランプ」及び劇団サルビー見守り隊のミニ公演

定 員 500人(先着・要申込)

#### ・エンドオブライフ・ケア研修会

日 時 令和6年7月27日(土) 午後1時30分から午後4時30分まで

場 所 安城市民会館 大会議室

内 容 人生の最終段階における意思決定支援、多職種連携等についての講義及びグループワーク、もしバナゲーム等体験型研修会

講 師 杉浦 真氏（愛知県厚生連安城更生病院 脳神経内科 介護老人保健施設長）

・在宅医療・介護連携推進のための研修会（グループホーム部会）

日 時 令和6年8月9日（金）午後6時30分～午後8時30分

場 所 安城市民会館 視聴覚室

講 師 和田 行男氏（株）大起エンゼルヘルプ

内 容 各GHのお困りごとを紐解いて頂きながら認知症を持つ方への関り方

・自立支援サポート会議

日 時：令和6年7月25日（木）午後2時～ ハイブリッド開催

・第6回日本在宅医療連合学会大会のご案内

次回 令和6年9月19日（木）午後1時30分～3時00分 社会福祉会館 3階 会議室